

すくやか

S U K O Y A K A



No.54

●編集・発行

財団法人 広島県勤労者福祉推進協会

本部/〒732-0825 広島市南区金屋町1番17号ワークピア広島内

☎ 0120-276-701

TEL: 082-261-4208 FAX: 082-263-7586

http://www.kinnrou.jp



気象情報を有効に使おう 積乱雲に伴って発生する災害③

竜巻による災害は
共済対象です。

竜巻による災害



9月は運動会やキャンプ、野外活動もまだまだ活発なシーズンです。

①事前に気象状況や雷注意報を確認しましょう!

- ◆雷注意報は、雷や竜巻が発生する数時間前に発表されます。
- ◆雷注意報の発表中は溪流、河川敷や中洲、親水公園などでの活動は避けましょう。
- ◆気象情報は、テレビやラジオのほか、気象庁のホームページでも確認できます。
民間事業者による携帯コンテンツサービスも準備されており、屋外活動での利用も可能になります。



②竜巻発生確度ナウキャストで最新の情報を確認しましょう! 竜巻注意情報もチェックしましょう!

(ナウキャストは突然発生する局地的な現象を予測するのに適しています)

竜巻などの突風は、規模が小さく、レーダーなどの観測機器で直接実体を捉えることができません。そこで、竜巻発生確度ナウキャストでは、※1気象ドップラーレーダーなどから「竜巻が今にも発生する(または発生している)可能性の程度」を推定し、これを発生確度という用語で表します。

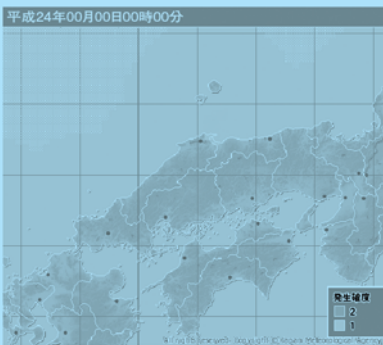
竜巻発生確度ナウキャストは、竜巻の発生確度を10km格子単位で解析し、その1時間後(10～60分先)までの予測を行うもので、10分ごとに更新して提供しています。

(※1:電波のドップラー効果を利用して、降水雲内のきめ細かな風の3次元分布を観測できるレーダー)

激しい突風の発生する可能性の高さに応じて、発生確度1、2で表します。

発生確度2になっている地域には「竜巻注意報」が発表されます。

発生確度2となった地域で、竜巻などの激しい突風が発生する予測の適中率(可能性)は5～10%で、捕捉率20～30%。竜巻注意報の発表に繋がることから出来るだけ絞り込んだ予測となっている為、的中率が高い反面、見逃しが多くなります。発生確度1の場合的中率は1～5%ですが捕捉率は60～70%で見逃しが少なくなります。



(気象庁ホームページより引用)

③積乱雲が近づいてきたら建物に避難しましょう!

こんなとき、発達した積乱雲が近づく兆しです。
竜巻、雷、強い雨の危険があります。

- ◆真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆雷鳴が聞こえたり、電光がみえたりする
- ◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

避難

運動場など開けた場所や水辺は危険です。
すぐ避難しましょう。

頑丈な建物の中に避難

避難できない場合は物陰やくぼみに身を伏せましょう。
車庫・物置・プレハブへの避難は危険です。

屋内でも窓や壁から離れる

- ・家の中心部に近い、窓の無い部屋に移動
- ・窓、雨戸を閉め、カーテンを引く
- ・頑丈な机の下に入り、頭と首を守る

●建物の倒壊



●屋根瓦が飛散



●飛来物の衝突



他にも...

- 電柱・樹木の倒壊
- テント等の飛散 など

強い竜巻では列車や自動車が転覆することもあります。

平成18年9月17日宮崎県延岡市で発生した竜巻による被害
(気象庁パンフレットより引用)

勤労者協会の火災共済の付加共済(自然災害)で、竜巻被害は給付対象となります

※但し、付加共済ですので限度額が設けてあります。詳しいことは該当支所・分室にお問い合わせ下さい。